



さんぽっぽ

～景観だより～
～第24号(26.6)～



「田の神さあ」を知っていますか？

田植えの季節になりましたね。田んぼの近くを歩いていると、あちこちで「田の神さあ」と呼ばれる石像に出会えます。この田の神様の石像は、鹿児島県や宮崎県の一部にだけみることのできる景観のようですよ。



とうごうちょう
東郷町



けどういんちょう
祁答院町



ひらさちょう
平佐町



ひわきちょう
樋脇町



いりきちょう
入来町



ちゅうごうちょう
中郷町

田の神様はその名前のおり、田んぼを守り、豊作をもたらす神様です。市内の田園風景でもたくさん「田の神さあ」に出会えます。
「田の神さあ」は形もさまざまで、市内で一番多いのは、農夫の姿をしている「田の神さあ」です。手にはしゃもじやお椀、扇子など、いろいろなものを持っています。



いりきちょう
入来町



くすもとちよ
楠元町



じょうかみちょう
城上町



けどういんちょう
祁答院町



みやざちょう
宮里町

田んぼのあぜ道から、そこで働く人々を見守り続ける「田の神さあ」。これからも守り続けていきたい薩摩川内市の景観の一つですね。



田の神様にちなんだお祭りで、「田の神辰し」というのが、祁答院町で行われています。150年以上前から伝わる行事で、色とりどりの色彩が施されたユーモラスな姿の「田の神さあ」を集落の新婚夫婦が一年間預かり、毎年春に新しい家へ引っ越しをします。子孫繁栄、無病息災、五穀豊穰を祈るお祭りです。

※子供(こども)が生(う)まれますように、病気(びょうき)をしませんように、お米(こめ)がたくさんとれますように

